

令和4年度 生命環境学部 学校推薦型選抜
食保健学科 小論文 解答例

設問 I

【解答例】

問1 (10点)

全ての人々が、経済的不安に苦しむことなく、経済的リスクの低減、必要とする質の高い医療サービスを受けられ、必要とする安全で有効であり高品質で安価な医薬品とワクチンなどの全てを入手できるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成することが目標である。

問2 (10点)

持続可能な開発目標 (SDGs) のことであり、SDGs は 2015 年の 9 月に国連サミットで国際社会共通の目標として定められた。

財政的リスクの低減、

「誰も置き去りにしないために。貧困や不平等などの国際問題の解決を目指し、すべての人にとって良い、より持続可能な未来を築くこと」がゴールとされ、2030 年までの達成を目標としている 150 字

採点基準：下記の中から関連する具体例を挙げて説明できていれば加点する

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう

15. 陸の豊かさも守ろう

16. 平和と公正をすべての人に

17. パートナースHIPで目標を達成しよう

問3 (10点)

資源は限られており、その地域の全人口に対して無制限のサービスを持続可能な方法で提供できる行政区はないため、決められたサービスパッケージに含まれる医療介入を選択する際には、資源の割り当てと優先順位の設定が非常に重要となるが、困難であるため。

問4 (20点)

(例)

(私は万能な方策はないと考える。) 歴史、政治のリーダーシップ、地域の社会的および倫理的原則、国の医療制度もそれぞれ異なる。さらに、国内の利用可能な財源はすべて、最終的には国が資金を調達することで、不可欠な医療サービスが提供されることになる。すなわち、公的資金を受けられることが、すべての人が健康であるための大きな足がかりとなる。しかしながら、国民に無制限にそれを提供できないため、持続可能な方法で全人口に不可欠なサービスから優先順位を付けて提供することが必要である。その結果、すべての人々のより良い健康を経済的困難なしに公平に達成することが可能になると考える。

(281字)

令和4年度 生命環境学部 学校推薦型選抜
食保健学科 小論文 解答例

設問 II.

問1. (12点)

- ① 喫煙している周りの人の健康被害防止 (受動喫煙の防止)
- ② 職場や飲食店での受動喫煙対策が進み、喫煙習慣のある人が公共の場でのタバコを吸いにくい環境となってきたことや、
- ③ 数回にわたるタバコの値上がりで、タバコを吸う事の経済的負担が大きくなってきたことも要因としてあげられると考える。
- ④ 禁煙治療の対処、ニコチンガムについての知識が国民に広く共有されてきている

問2. (15点)

男性の中年層に多いと考える。喫煙者のうちやめたいと思う者の割合は男性 (3 割弱) より女性 (35%程度) で多いが、実際の喫煙者は、女性は男性の 3 分の 1 程度であるため。
(78 字)

問3. (13点)

- ・喫煙量が増えた者がある可能性

(一例: オフィスでは禁煙であるが、在宅勤務になったため周囲への配慮が必要なくなり勤務時間中の喫煙量が増えた者がある可能性がある。また、テレワークでは人との円滑なコミュニケーションが難しく、また自由な外出機会が奪われたこともあり、これらがストレスとなって喫煙量が増えるかもしれない。こうした人で同居家族がある場合、家族の受動喫煙が増えることも心配される。(172 字))

- ・喫煙をやめた者が増えた可能性

子供や家族が自宅にいるなど

問4 (10点)

エネルギーの過剰摂取、身体活動の低下 (運動不足)

塩分取りすぎ、酒の飲みすぎ、野菜・果実の摂取量の不足